

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報				
・ 学籍番号	AE22103			
・ 氏名	黒木 琉			
・ 学部	工学部			
・ 学科(コース等)	電気工学科			
・ 学年(渡航開始時)	3年			
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☒ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望			

留学先情報				
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☒ オンライン型			
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型			
・ 国・地域名	ラトビア			
・ 都市名	リガ			
・ 留学先大学名	Riga Technical University			
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）			
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2025年1月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)	2025年6月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	もともと漠然とヨーロッパへの留学に憧れがありました。その中で、物価が西ヨーロッパに比べて比較的安く、大学が寮を提供してくれること、入学時に求められる語学スコアが自分のレベルに合っていること、そして私の専攻である電気工学を学べること——こうした条件をもとに、芝浦工業大学の協定校一覧から絞り込み、現在の留学先を選びました。			
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)				

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☒ 休学をした ☐ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、基本的な授業スタイルは芝浦工業大学と大きく変わりません。授業は対面で行われ、出席も求められます。また、課題は大学専用のサイトに期限内にアップロードする形式が一般的です。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Fundamental of Computer Systems Design	単位数 (現地単位数) 2 CP
科目概要	科目名のとおり、コンピュータのシステムデザインの基礎について学ぶ授業です。ハードウェアではなく、ソフトウェア寄りの内容で、普段の授業では主に要件定義について講義形式で学びます。授業は相互的というよりも一方向的で、講師の話聞くスタイルです。	
	課題は毎週グループで取り組む形式が中心で、最初の3週間ほどは個人課題が出されます。授業全体を通して、最終的にはグループごとにオリジナルのアプリを企画・設計し、その内容を発表します。	
科目名②	Electrical Measurements in Telecommunication	単位数 (現地単位数) 4 CP
科目概要	電気計測における各種規格について主に学ぶ授業です。授業は講義と実験に分かれており、講義では一方向的に説明を受ける形式です。実験では毎週テーマと手順が与えられ、それに従ってグループで実施します。実験後は、結果と考察をまとめて大学専用のサイトに提出します。	
科目名③	Presentation Practice	単位数 (現地単位数) 2 CP
科目概要	英語でのプレゼンテーション発表の練習を行う授業です。3～4週間に一度のペースで発表があり、テーマは毎回授業側から与えられます。発表がない週には、話し方の姿勢やスライドの見やすさなど、効果的なプレゼンテーションの方法について学びます。	
科目名④	Academic Writing	単位数 (現地単位数) 2 CP
科目概要	英語でのアカデミックライティングの書き方を学ぶ授業です。セメスターの終わりには、自分の興味のある分野を調べるか、過去に行った研究をもとにアカデミックな文章と簡単なプレゼンテーションを作成します。その後、「ピアレビュー」と呼ばれる形式で、学生同士が匿名で互いの提出物を評価し合います。	
科目名⑤	Latvian for Foreign Students	単位数 (現地単位数) 1 CP
科目概要	ラトビア語を学ぶ授業です。授業は相互的な形式で進められ、自分たちで発音練習や簡単な会話にも取り組みます。最後には、自分の国についてラトビア語で発表し、自分自身について書いたショートエッセイをラトビア語で発表する課題があります。	
	この授業は他の科目よりも早く終了する、お試的な位置づけの授業です。発表もすべてラトビア語で行いますが、正直なところ、内容を完全に理解するのは難しいです。しかし、すぐに理解できないのは当然のことであり、良い経験になっていると感じています。	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

ESNという大きな学生団体があり、毎週のようにイベントやパーティーが開催されるため、友達作りに困ることはありません。また、大学の制度としてラトビア人学生とバディを組み、交流できる機会も用意されています(私はこの制度を活用しそびれてしまいました)。

私はダンスが好きなので、現地のダンスバトルに参加し、その場で地元のダンス仲間ができました。また、ラトビアと日本の貿易に携わる現地の社長さんが主催する日本人向けイベントもあり、そこで多くの出会いがありました。

そのイベントでは、海外で働く日本人とも知り合うことができ、自分がこれまで知らなかった生き方やキャリアの可能性に触れ、大変貴重な経験となりました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

結論から言うと、留学して本当によかったと思います。当初は、大学での勉強や語学力の向上が主な成果になると考えていましたが、実際にはそれ以上に、大学の外で多くの貴重な経験を得ることができました。

まずは人との交流です。ヨーロッパの中でもラトビアにはさまざまな国から学生が集まっており、彼らと日常的に接することで、それぞれの文化や言語、性格の違いを肌で感じることができました。これは日本ではなかなか得られない体験です。

次に、自分の国について考える機会が増えたことも大きな収穫でした。交流を通じて、日本について自分が意外と知らないことに気づき、「もっと知りたい」「きちんと説明したい」という思いから、日本の新聞を読んだり、宗教や文化に関する本を手にとったりするようになりました。結果的に、日本人の価値観や考え方の根本に触れる学びの機会にもなりました。

語学力についても、交流を重ねる中で自然と慣れていきました。もちろん、英語の勉強を怠ってよいわけではありませんが、実際に人と話してみることが、語学力向上への一番の近道だと実感しました。

また、ラトビアでは日本にいるときよりも時間に余裕があり、自分自身と向き合う時間を持つことができました。将来のこと、自分とは何かについて、じっくり考えるきっかけになったのも大きな成果です。

ここに書ききれないほど、多くの経験を得ることができました。社会人になると、時間やお金の制約でなかなかこうした経験はしづくなります。もちろん、学生のうちから学費を自分で賄っている方や、さまざまな事情を抱えている人もいますが、成績などの条件を満たせば、大学から給付型の支援を受けることも可能です。

一度きりの人生の中で、留学は大きなチャレンジかもしれませんが、それ以上に得られるものがあると私は思います。迷っている人には、ぜひ一歩踏み出してみることをおすすめします。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

特に大きな苦労は感じませんでした。大学から提出書類の指示があったため、それに沿って準備を進めることができました。もちろん、準備にはある程度の時間はかかりましたが、「大変だった」「つらかった」と感じるようなことはありませんでした。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ビザ申請については、正直苦労しました。Riga Technical Universityから提出書類の指定はありましたが、申請自体はリガに到着してから行う形式でした。

特に大変だったのは、銀行の残高証明書の準備です。私が普段使っている銀行では、生年月日が記載されない仕様になっており、その証明書を持ってビザ申請に行ったところ、「生年月日が記載されていないため無効」と言われてしまいました。

そのため、最終的には生年月日が明記されている別の銀行の残高証明書を用意し、加えて芝浦工業大学からの給付金に関する証明書も添えて再提出することで、ようやく受理されました。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

芝浦工業大学や協定校から指定されている書類を、漏れなくしっかりと準備すれば基本的に問題はありません。仮に何かの事情で書類を揃えられなかったとしても、できないなりに対策を講じることで、最終的にはなんとか解決できるはずです。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

協定校のHPから応募した。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいました

バス。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

徒歩40分、バス20分
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

前提として、私の住んでいた寮は2025年7月1日をもって閉鎖されました。非常に住み心地のよい寮で、個人的にはとても満足していました。

もともとホテルだった建物が寮として使われていたこともあり、キッチンやトイレ、シャワーなどの設備が他の寮と比べて整っており、快適に過ごすことができました。さらに、偶然にも元デラックスルームだった部屋に滞在することができ、広さや内装の面でも非常に恵まれていたと思います。

立地も素晴らしく、寮は旧市街の中に位置していたため、外出に出かける際もたいへんは徒歩で行くことができ、とても便利でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	0円	
往復航空券代(往復)	¥200,000	JALで一括(東京⇄リガ/ヘルシンキ経由)
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	芝浦工業大学指定
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥34,000	寮のdeposit
計	¥334,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥59,000	
食費/月	¥25,000	
その他/月	¥40,000	交通費、通信費、日用品
計	¥124,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥800,000	
計	¥800,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

校舎です。春になると雪は一切消え、緑が芽生えます。

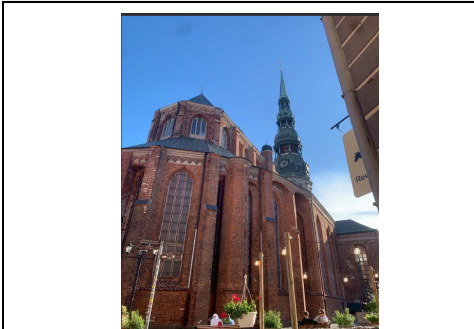
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

かなり大きい部屋で快適でした。（閉鎖中）

その他、任意の写真



説明文

旧市街で一番高い建物の、聖ペテロ協会です。上にも登れて眺めがきれいです。

その他、任意の写真



説明文

夏になると日焼けをする人が公園にちらほらいます。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。